

平成 26 年 9 月 12 日

## 第 1 回「ビジネス創造交流会」の開催について

### 産学連携支援～最先端の研究シーズをビジネスニーズに橋渡し～

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、平成 26 年 3 月に締結した九州大学との産学連携協定に基づき、新たな産学連携企画となる「ビジネス創造交流会」を開催しますのでお知らせいたします。

この交流会は、最先端の大学技術シーズと地元企業の事業者ニーズを結び付ける機会を提供し、産学連携を通じた企業の事業力強化と大学の学術研究の活性化、及び当行中期経営計画に掲げる“地域との共栄”の実現を図ることを目的としています。

第 1 回の開催概要は下記の通りですが、今後、2 ヶ月毎の定例開催を予定しています。

記

#### ◆第 1 回ビジネス創造交流会の概要

タイトル	第 1 回ビジネス創造交流会
日 時	平成 26 年 10 月 24 日（金）16：00～18：00（受付開始 15：30）
会 場	NCB リサーチ&コンサルティング セミナー室 （福岡市博多区下川端町 2 番 1 号 博多座西銀ビル 13 階 TEL092-282-2662）
テ ー マ 発 表 者	テーマ：「青果物の移送における鮮度保持と殺菌に関する新技術」 発表者：九州大学大学院農学研究院 教授 内野 敏剛氏 九州大学大学院総合理工学研究院 准教授 林 信哉氏
主 催	西日本シティ銀行、九州大学、NCB リサーチ&コンサルティング
定 員	30 名程度 ～事前申込みが必要です（先着順）～
参 加 費	無 料
対 象 者	本テーマと業務上関連性があり、且つ自社単独では研究開発等が困難な事業者の方で、九州大学との共同研究等にも関心があるお客さま
申込方法	会社名・部署・氏名・連絡先を明記の上、10 月 17 日（金）までに FAX、e-mail にて九州大学へ直接お申し込みください。 お申込み先 九州大学産学官連携本部 企画グループ <F A X> 092-832-2195 <e-mail> business@imaq.kyushu-u.ac.jp

以上

本件に関するお問い合わせ先  
 地域振興部 ゆきざき 柚木崎 TEL092-476-2743

# 第1回ビジネス創造交流会のご案内

このたび九州大学と西日本シティ銀行およびNCBリサーチ&コンサルティングは、「ビジネス創造交流会」を定期(隔月)開催することになりました。

この会では九州大学やその他大学、研究機関の研究内容や研究成果を地元の企業様に解り易く解説し、セミナー後の懇談会では研究者と参加者で自由闊達な懇談を行っていただく時間を用意しております。

テーマは毎回異なった学術分野から事業化されやすいものを選択する予定ですので、新規事業の開拓や業務の課題解決の参考にして頂けますよう、奮ってご参加ください。

## 日時

平成26年10月24日(金) 16:00~18:00

## 場所

㈱NCBリサーチ&コンサルティング  
セミナー室(博多座・西銀ビル13階)  
〒812-0027 福岡市博多区下川端町2-1



## 参加申込

参加ご希望の方は、次の必要事項をご記入の上、メールまたはFAXでお申し込み下さい。(書式は自由)

- ①氏名 ②会社名・部署名 ③電話番号
- ④メールアドレス

定員:30名(先着順)

参加費:無料

申込み先

九州大学産学官連携本部 企画グループ 中村宛

Mail: [business@imaq.kyushu-u.ac.jp](mailto:business@imaq.kyushu-u.ac.jp)

FAX:092-832-2195

## プログラム

1. 16:00~17:00 講演 (受付開始 15:30)

テーマ

**【青果物の移送における鮮度保持と殺菌に関する新技術】**

講師:九州大学 農学研究院 教授 内野 敏剛

講演概要

軟弱な青果物は収穫後、消費者の手に渡る前にカビや腐敗が生じることがあり、また、蒸散の激しい葉菜類では輸送中に萎凋により商品価値を失う場合があります。これらを抑制するために出荷前に赤外線・紫外線を用い青果物の表面殺菌を行い、とくにイチジク果実で顕著な効果を得ております。また、非常に微細なミストを使用して高温環境を作り出し、これにより葉菜類を貯蔵して蒸散の抑制を行いました。ここでは、これらの結果をご紹介します。

講師:九州大学 総合理工学研究院 准教授 林 信哉

講演概要

これまで工業応用の基盤技術の一つとして広く活用されてきたプラズマ技術が、人と環境にやさしい農業応用技術として近年注目され始めています。プラズマ防菌防霉法による薬剤農薬不使用の農産物長期保存技術、プラズマで植物本来の機能を活性化させる成長促進技術、農産物の食品としての機能性の向上、およびプラズマによるマイルドで高効率な品種改良などが代表例です。ビジネス創造交流会ではこれらの技術の応用例をご紹介します。

2. 17:00~18:00 名刺交換、質疑応答および懇談会

## 問い合わせ先

九州大学 産学官連携本部 中村 雅昭 TEL:092-832-2126

西日本シティ銀行 地域振興部 柚木崎 真 TEL:092-476-2743



九州大学



ココロがある、コトエがある。  
西日本シティ銀行



西日本シティ銀行グループ  
株式会社  
NCBリサーチ&コンサルティング